



活動の場所

「山梨中銀ふれあいの里山」
山梨県中央市



活動目的

グループ役職員の環境意識向上のほか、環境保全・生態系の維持に加え、地域の課題解決に貢献する里地里山保全活動を行っています。

活動内容

山梨中央銀行では、持続的な世界・地域社会の実現と継続的な企業価値向上をともに実現するため、サステナビリティ経営の高度化に取り組んでおり、当行が取り組むべきマテリアリティの一つに「豊かな自然環境の維持と将来への継承」を掲げております。その課題解決に向けた取り組みの一つとして、当行グループでは、人と自然が調和した里地里山の保全を推進し、後世に引き継ぐ活動として、2011年8月から山梨県中央市の耕作放棄地（653㎡）と山林（4,359㎡）を「山梨中銀ふれあいの里山」と命名し、地域の農家・森林組合の皆さまのご指導のもと再生させ、様々な野菜を栽培しております。また隣接する荒廃した森林の整備を行い、植樹活動（山桜340本、こぶし100本、ヤマボウシ100本）を実施しました。これまで延べ57回の活動に約3千人の役職員とその家族が参加しました。なお、収穫した野菜は、地域の豊かな生活づくりを支援するため、地域のこども食堂を運営するNPO法人に寄付しております。



PRしたいポイント

- 地域の課題解決に貢献する里地里山づくりの活動
- 地域の生態系への貢献

活動効果、今後の展開 等

- 今後の展開（予定）
里山の周辺は桃などの果樹や野菜の畑が広がる農村地域。近年、主要な送粉者である野生ハナバチ類の減少が課題となっており、地域の農業生産に与える影響が大きいため、ミツバチの餌となる蜜源（花畑）を里山周辺に人為的に提供し（山梨中銀花畑プロジェクト）、生態系の維持に加え地域の課題解決に貢献して行きたい。